

施策評価調書

施策名	1-2-2	新たな手法による効率的な道路等の維持管理		施策を 取り巻く 環境変化
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 22	
担当部課	建設産業部 都市整備課	担当	都市整備 担当	
		リーダー	阿久津 径行	

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	-5.0% 第23位/全36項目(効率的な道路の維持管理)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	39.6% 第30位/全36項目(効率的な道路の維持管理)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:道普請事業整備延長:(m)	22年度までの実績	計 画	11,300m	12,300m	13,300m	14,300m	15,300m
	10,300m	実 績					
指標2:		計 画					
		実 績					
指標3:		計 画					
		実 績					
指標4:		計 画					
		実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項	○道普請事業は、各年度の地域要望をもとに実施する事業であることから、要望の状況により、整備延長が一定しないことも予想されますが、地域の取り組み機運や財政状況を踏まえながら整備路線を調整し、事業推進に努めます。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	49,000			
	決 算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
自己評価(部)	道路評価システムによる道路整備の困難な路線について、地域住民との協働により、計画的に道普請を推進していく。	地域からの要望を基に実施される事業であるため、地域の取組状況は、町の財政状況を勘案しながら整備路線の調整を行っていく。
総合評価(町長)	前期計画に引き続き、住民との協働による取組みを柱にすることを評価する。ただし、財政状況や社会状況を勘案しながらの施策展開となるので、選択と集中を考え、何に資源を投入して、どこを抑えるべきなのか、他の都市・生活基盤分野の施策と優先順位を検討した、メリハリのある施策展開を常に検討していくこと。	